# 第１学年５組　社会科（地理）学習指導案

指導者　廣田　晴彦

１　題材名　「身近な地域の調査」

２　目　標

〇景観の観察や縮尺の大きな地図の読図などを通して，身近な地域に関する様々な地理的事象に気づくとともに，地域的特色をとらえるために地域調査などに意欲的に取り組もうとしている。

（社会的事象への関心・意欲・態度）

〇身近な地域に関する情報を収集し，それらの情報を基に適切な調査テーマを設定するとともに，調査テーマについて地域の環境条件や他地域との結びつき，人々の営みから調べ，考察している。

（社会的な思考・判断）

〇調査で得た情報を地図やグラフ，文章等に表現するとともに，それら作成した資料を相互に関連付けて考察し，地域的特色をオリジナルマップにまとめたり，発表したりしている。

（資料活用の技能・表現）

〇地域的特色をとらえる方法である，環境条件や人々の営みなどとのかかわりの中で生み出されている地理的事象の見いだし方，調べ方，追究の仕方，表現の仕方を理解し，それらの知識を身に付けている。

（社会的事象についての知識・理解）

３　評価規準

| 社会的事象への関心・意欲・態度 | 社会的な思考・判断 | 資料活用の技能・表現 | 社会的事象についての知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 身近な地域である五中学区に対する関心を高め，その観察や調査などに意欲的に取り組み，地域的特色をとらえようとしている。 | 身近な地域である五中学区の地理的事象から課題を見いだし，それを環境条件や人々の営みなどと関連づけて多面的・多角的に追究するとともに，地域的特色をとらえる方法について考察している。 | 身近な地域である五中学区の観察，調査で収集した情報を地図やグラフ等に表現し，それらを相互に関連付けて地域的特色をとらえるとともに，資料を適切に選択し，活用している。 | 身近な地域である五中学区の地域的特色をとらえる方法を理解し，それらの知識を身に付けている。 |

４　単元計画

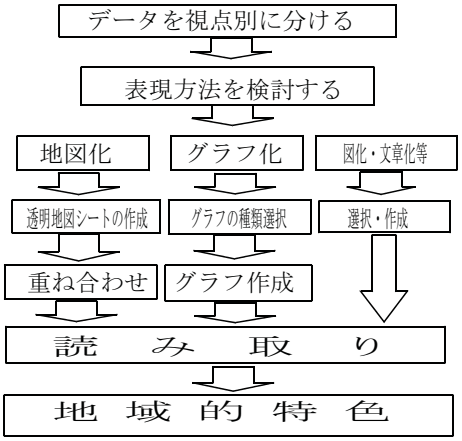
| 段階 | 時 | 学習活動及び内容 | 形態 | ○教師の援助指導 | ※作業的な学習指導の工夫 ◎評価規準 |
|---|---|---|---|---|---|
| 課題設定 | ① | 1 地域調査ノートの使い方や単元の流れについて確認する。<br>2 屋上からの景観を観察，スケッチし，五中学区の様子について発表する。<br>3 景観スケッチ，航空写真，地形図を比較して，それぞれの利点について話し合う。 | 一斉<br><br>個人 | ○地域調査ノートを用いて本単元のねらいやノート中のワークシート，調査時の注意事項等について説明する。<br>○景観，航空写真，地形図の順に提示していき，情報量に着目させる。<br>○地形図は地図記号や等高線等の様々な情報を得ることができることから，地理的事象をとらえる上で最も有効であることを確認する。 | ※景観からの情報量，航空写真からの情報量，地形図からの情報量をノートに記入させることで，情報量の差を数値的にとらえさせる。<br>◎五中学区について興味・関心をもち，景観や航空写真，地形図から地理的事象を見いだそうとしている。<br>（観察・景観図・評価表：関・意）<br>◎情報量を数値的にとらえ，地形図の有効性に気付く。<br>（地域調査ノート・観察：知・理） |
| | ② | 4 地形図のきまりを知る。<br>5 前時の学習や新旧の航空写真と地形図の比較から，地理的事象の変容を見いだし発表する。<br>6 調べてみたい地理的事象を見いだし，調査テーマを設定する。<br>五中学区にはどのような特色があるのだろうか。<br>〈テーマが予想される地理的事象〉<br>レンコン・工場・コンビニ・自然・交通渋滞・神立駅・住宅地・地名 | 個人 | ○読図や作図から，地図記号や等高線，縮尺等の地形図に関する基礎的な知識を身に付けられるようにする。<br>○縮尺については，２万５千分の１の地形図を使って実際の距離を求め，とらえさせる。<br>○複数のテーマから一つを選び出すことが困難な生徒や地理的事象を見いだせない生徒については,助言したり，あらかじめ教師がいくつかの課題を準備しておいたりする。<br>○地域調査ノートにテーマ設定の流れを明記しておく。 | ※調査テーマを設定する際は,「①情報ソース→②事実→③疑問やこだわり→④理由」を地域調査ノートに明記し，生徒がテーマ設定の流れがわかるよう工夫する。<br>◎景観や航空写真の観察，地形図の読図から地理的事象の変容を見いだし，その位置や分布をとらえる活動を基に，地域調査ノートにテーマを設定している。<br>（地域調査ノート：思・判） |
| | ③ | 7 同じ調査テーマのグループでサブテーマを設定する。<br>8 サブテーマについて予想する。<br>9 調査計画を作成する。<br>・ウェビングの実施<br>・調査内容の決定<br>・調査方法の決定<br>・ルートマップの作成 | グループ<br><br>個人<br><br>グループ | ○サブテーマについては，社会的事象を成り立たせている要因やその背景にあるものに着目し，予想するよう助言する。<br>○ウェビングは個人で行い，地域的特色をとらえる三つの視点を基に自由に広げさせる。<br>○ウェビングによって出てきた様々なキーワードをグループで話し合い，調査内容や調査方法につなげていくよう留意する。 | ※ウェビングは地域的特色をとらえる三つの視点を柱に実施し，キーワードから，調査方法や調査内容を具体的にイメージできるよう工夫する。<br>◎地域的特色をとらえる三つの視点をもとにウェビングを行い，それを基にグループで話し合いながら調査計画を立てている。<br>（地域調査ノート：思・判） |
| 課題の追究 | ④<br>⑤ | 1 地域調査による情報収集を行う。<br>・現地調査<br>・聞き取り調査<br>2 調査からわかったことや考えたことを地域調査ノートに記入する。 | グループ | ○統計資料については，表にまとめておき，結果をまとめる際にグラフ化するよう助言する。<br>○写真や図についても，まとめの際に必要に応じて使用するよう助言する。<br>○現地調査や聞き取り調査は，交通ルールやマナーを守って実施するよう事前に説明する。 | ※調査時は，市の都市計画図（１万分の１）で確認しながら調査させる。<br>◎現地調査や聞き取り調査に意欲的に取り組み，テーマ解決のための資料を収集している。　（観察：関・意）<br>（地域調査ノート：技・表） |
| | ⑥<br>検証授業 | 3 ルートマップや地域調査ノートをもとに調査内容についてグループで話し合い，資料を作成する。<br>・調査内容の地図化やグラフ化<br>・地図やグラフ以外は他の方法で表現（図，文章，写真等）<br>4 グループで五中学区の地域的特色について話し合う。<br>・作成した地図やグラフ等から考察<br>・五中学区の地域的特色の記入 | グループ<br><br>個人<br><br>グループ | ○三つの視点別に，透明シートに調査データを作図させ，グループ内や必要に応じて他のグループのものと重ね合わせるよう助言する。<br>○作図や収集した統計資料のグラフ化，その他の図化などから，五中学区の地域的特色をとらえ，地域調査ノートに記入させる。<br>○それぞれの資料が三つの視点相互に関連しているかに着目させ，話し合わせる。<br>○地域的特色をとらえる上で不足している資料は何か，どのような調査が必要かを考え，地域調査ノートに記入できるようにする。 | ※地図化は視点別に透明シートに記入し，重ね合わせることで三つの視点間の関連をとらえやすくする。<br>◎調査から得た地理情報を地図化やグラフ化している。<br>（地域調査ノート・観察：技・表）<br>◎地域的特色を三つの視点の関連からまとめるとともに不足している視点に気付くことができる。<br>（地域調査ノート・観察：知・理）<br>（地域調査ノート：思・判） |
| | ⑦ | 5 再調査の計画を立てる。<br>・不足している内容の確認<br>・調査方法の決定<br>インターネット<br>電話によるインタビュー<br>アンケート | グループ | ○再調査する内容や調査方法についてグループで確認する。<br>○再調査は，文献調査やインターネット調査等を中心に計画するように助言する。<br>○聞き取り調査等が必要な場合には，電話やファックスもしくは教師が適切な資料を事前に収集しておくよう留意する。 | ※アンケート内容やインタビュー内容等については,「三つの視点のどの視点の回答が必要か」「期待する回答が何か」を考えさせる。<br>◎不足している内容について，調査方法を見いだすことができる。<br>（地域調査ノート・観察：知・理） |
| 課題の整理・まとめ | ⑧ | 1 前時の計画をもとに再調査を行う。<br>2 グループのテーマから見た五中学区の地域的特色についてまとめる。<br>3 発表会資料を決定する。 | グループ | ○再調査は，文献調査やインターネット調査等を中心に行うことを確認する。<br>○予想と結果を比較し，社会的事象を成り立たせている要因やその背景にあるものから考察できるようにする。<br>○現地調査と再調査で得たデータをもとに，三つの視点と関連付けて地域的特色をとらえ，地域調査ノートに記入できるようにする。 | ※地域的特色を三つの視点から文章化し，文章と対比させながら資料を取捨選択させる。<br>◎不足している資料を収集し，地域的特色を三つの視点間のかかわりでまとめ，発表会に必要な資料について考察し，取捨選択している。<br>（地域調査ノート・観察：思・判） |
| | ⑨ | 4 オリジナルマップの作成<br>5 発表原稿の作成 | グループ<br><br>個人 | ○地域調査ノートから，調査過程などを必要に応じてオリジナルマップに掲載するよう説明する。<br>○発表の分担を決定し，発表がスムーズにいくよう発表原稿を書く。 | ※地図やグラフ等のレイアウトを考えさせ,「オリジナルマップから地域的特色がわかる」を目標に作成させる。<br>◎調査結果を三つの視点からオリジナルマップにまとめている。<br>（オリジナルマップ・観察：技・表） |
| 伝達 | ⑩ | 1 五中学区の地域的特色を発表する。<br>2 他のグループの発表を聞く。<br>3 相互評価をする。 | 一斉 | ○予想や結果，社会的事象を成り立たせている要因やその背景にあるもの（根拠）を明確にして発表するよう助言する。<br>○地域的特色を他のグループのテーマからもとらえさせるために，各グループの発表ごとに相互評価の時間を設ける。 | ※評価表を準備し，発表の仕方や発表資料，発表内容等について評価できるよう工夫する。<br>◎調査過程などを取り入れ，わかりやすく発表している。<br>（地域調査ノート・観察：技・表） |
| 発展 | ⑪ | 1 五中学区の将来像について話し合う。<br>五中学区をより住みよい街にするためにはどうしたらよいだろうか。<br>2 五中の将来像について，自分の考えを書く。 | 一斉<br><br>個人 | ○前時の発表会をもとに，五中学区全体を３つの視点からとらえて地域調査ノートに意見を書き，発表させるようにする。<br>○根拠を明確にし，自分の調べたテーマ以外からも自由に発表してよいことを助言する。<br>○地域的特色を過去，現在，未来の流れでとらえさせ，まとめさせるようにする。 | ※これまでに活用した新旧地形図や航空写真，地域調査ノートから五中学区の変容を確認させるようにする。<br>◎根拠や視点を明確にして，発表したり，考えをまとめたりしている。<br>（観察・感想：思・判，技・表） |

③　本時の学習

ア　目標

調査内容を地域の環境条件や他地域の結び付き，人々の営みの視点から地図やグラフ等に表現し関連付けて考察するとともに，地域的特色についてまとめることができる。

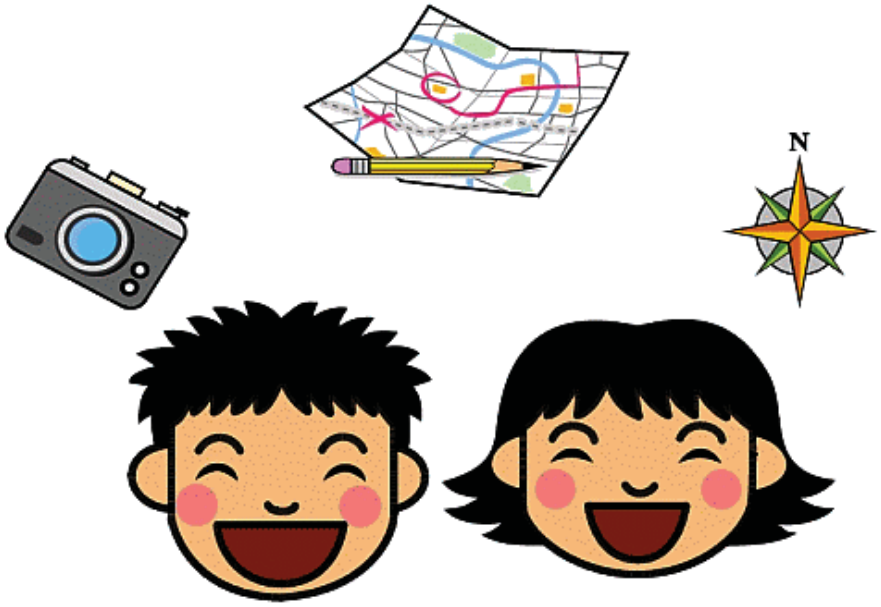
イ　展開

| 生徒の活動 | 指　導　上　の　留　意　点　・　◎評　価<br>※作業的な学習活動の工夫 |
|---|---|
| 1　本時の課題を確認する。<br><br>調査データを地図やグラフ等に表し，五中学区の地域的特色を見つけよう。 | ○地域調査ノート中の本時に使用するワークシートや自己評価表の項目を基に，本時の学習内容を確認する。 |
| 2　地域調査ノートを基に調査内容についてグループで話し合い，資料を作成する。<br><br>  <br> | ○様々な調査データについてグループで話し合い，データを三つの視点である「環境条件」「他地域との結び付き」「人々の営み」に分けて地域調査ノート中のワークシートに記入するよう助言する。三つの視点に当てはまらないデータについては，「その他」の欄に記入できるようにする。<br>○上の結果について助言し，データを地図化するものやグラフ化するもの（地図化できないもの），図化，文章化等，適切に選択し，資料を作成できるようにする。<br>○五中学区の地域的特色をとらえる際に不足している視点が何であるか確認する。<br>※三つの視点別に用意した透明地図シートに作図し，できあがった地図シートを重ね合わせたり，グループ間で重ね合わせたりすることで，三つの視点相互の関連をとらえられるようにする。<br>○地図化できない統計資料はグラフ化する。グラフ化は円グラフや棒グラフなど，目的に応じて選択できるよう，グラフの種類と用途について提示する。<br>○必要に応じて，土地の断面図に表現したり，地図の一部を拡大して表現したりするなど，自由に地図化できるようにする。<br>◎調査データを視点別に分け，地図やグラフ等に表現している。　（地域調査ノート・作成資料：技・表） |
| 3　五中学区の地域的特色について話し合う。<br><br>・作成した地図シートやグラフ等から考察<br>・五中学区の地域的特色をワークシートに記入 | ○作成した透明シートやグラフ，その他の資料が地域的特色をとらえる三つの視点相互にかかわり合っているかどうかに着目して話し合うよう助言する。<br>○作成した資料が，五中学区の地域的特色をとらえる上で必要な資料かどうかについて話し合い，取捨選択できるようにする。<br>○五中学区の地域的特色をとらえる上で不足している視点の調査方法や，三つの視点に当てはまらないデータの調査方法にはどのようなものがあるかを考え，ワークシートに記入できるようにする。<br>◎五中学区の地域的特色を，三つの視点とその相互関係からまとめるとともに，不足している視点に気付くことができる。　（地域調査ノート：思・判） |
| 5　次時の学習内容を確認する。<br><br>6　自己評価を行う。 | ○次時では，文献調査やインターネット等を中心とした再調査の計画を立て，不足している視点のデータを追究することを確認する。 |

社会科　地理

# 地域調査ノート

## ～これであなたも「身近な地域の調査」の達人～




| 年　　組　　番 |
|---|

| | |
|---|---|
| 学校名 | 土浦市立土浦第五中学校 |
| 住　所 | 土浦市手野町3218番地1 |
| 電話番号 | 029－828－1021 |

# 地域調査の流れ（もくじ）その１

①資料の収集と整理 → ②課題（テーマ）の設定 →

地域に関する情報収集（地理情報）

地理情報を整理，分類，似ている地域の情報との比較などから課題（テーマ）を設定する

☆事前調査

・屋上からの景観観察
　P１

・航空写真や地形図の読み取り
　P２～P４

・日頃感じていること

・その他

設定用紙　P５～P６

★地域的特色をとらえる視点

①地域の環境条件
～地域の環境条件とどのようなかかわりがあるか～

（1）自然環境
気候・地形・立地・資源

（2）社会環境
人口・集落・交通・産業・観光

②他地域との結び付き
～他地域との結び付きがどのように影響しているか～

③人々の営み
～その地域に住む人々はどのようなことを願い，工夫や努力をして暮らしているか～

# 地域調査の流れ（もくじ）その2

## ③地域調査の計画と実行

調査方法の検討

調査計画の検討

調査計画書の作成　P7

質問・回答予想　P8～P9

☆聞き取り調査・現地調査
☆調査のまとめ
　P10～P14

・電話のかけ方
・質問の仕方
・お礼
・写真撮影

地域調査ノート後半

☆再調査　P15
・不足している内容
・新たな課題

## ④調べた結果の整理・伝達

☆五中学区の地域的特色発表
　P16
○調査結果を，地域的特色と関連づけてまとめよう。

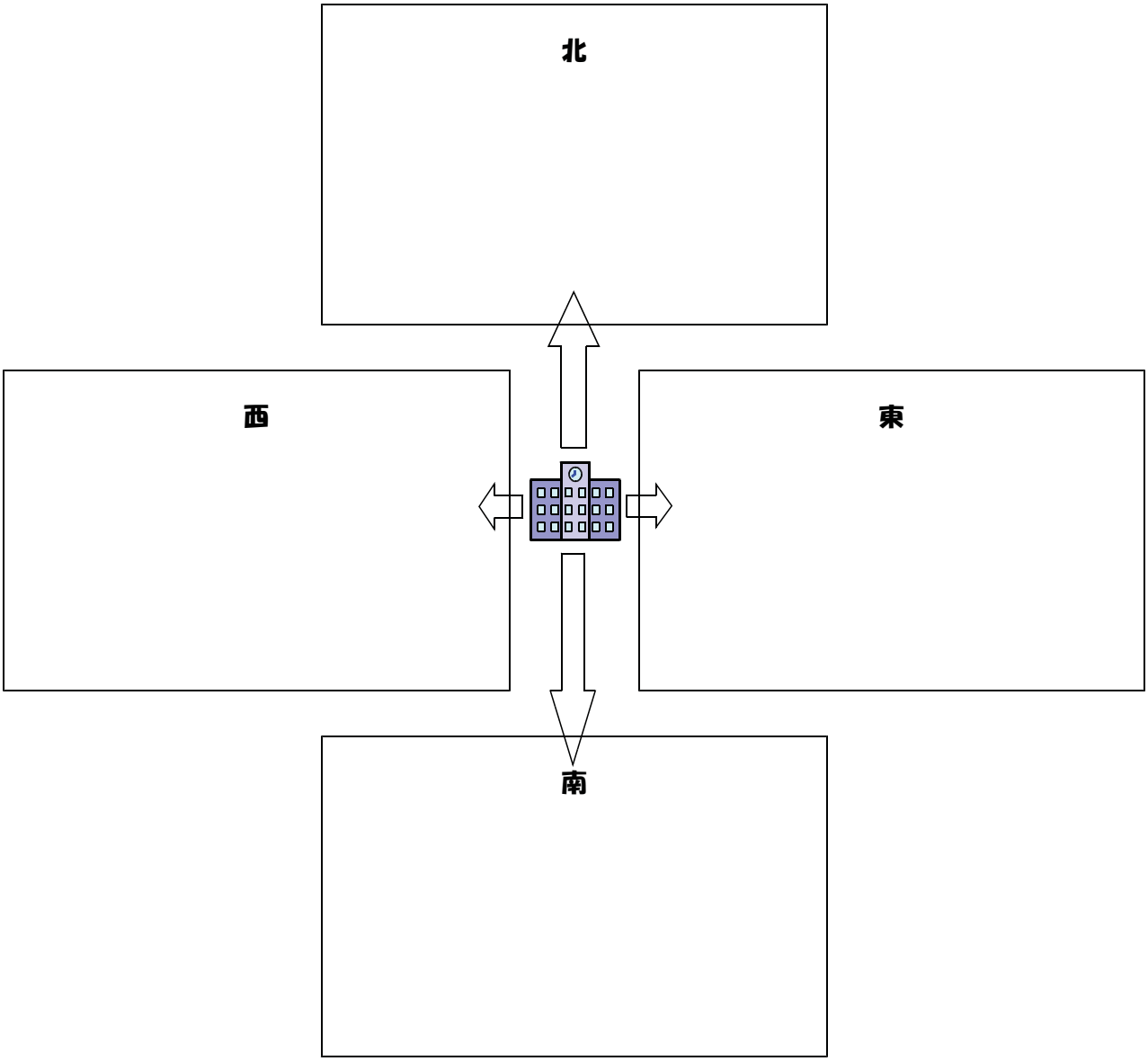
○調査結果を地図やグラフにして発表しよう。

☆五中学区の将来像について話し合う
　P17

注：
　自己評価カードがP17にあるよ。毎時間きちんと評価しよう。

# 屋上から景観をながめてみよう

○屋上から，東西南北の景観をスケッチしてみよう。特に，大きな建物や農地，住宅地など，何がどこに（位置）？どのように広がっているか（分布）？に注目して描いてみよう。




○4枚の景観スケッチを比べてわかることやスケッチをするときに位置や分布に注目してわかったことを書こう。

# 情報量が多いのはどれ？

1　景観，航空写真，地形図の中で地理的事象の情報量が多いのはどれだろう？
予想してみよう。

【予想】1位（　　）　2位（　　）　3位（　　）

2　実際に情報を書き出して，数えてみよう。

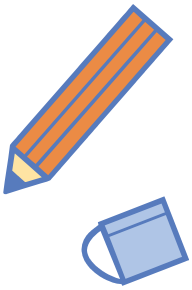
| | 景　　観 | 航空写真 | 地形図 |
|---|---|---|---|
| ① | | | |
| ② | | | |
| ③ | | | |
| ④ | | | |
| ⑤ | | | |
| ⑥ | | | |
| ⑦ | | | |
| ⑧ | | | |
| ⑨ | | | |
| ⑩ | | | |
| ⑪ | | | |
| ⑫ | | | |
| ⑬ | | | |
| ⑭ | | | |
| ⑮ | | | |
| ⑯ | | | |
| ⑰ | | | |
| ⑱ | | | |
| ⑲ | | | |
| ⑳ | | | |
| 合計 | | | |

3　一番，地理的事象の情報量が多いのは，どれでしたか？

**一番情報量が多いのは　　です**

# 地形図を知ろう

## 1　縮尺って何だろう？



地図は地表の様子を縮めて表しています。

その**縮める割合**を縮尺といいます。

## 2　実際の距離を求めてみよう。

①五中から神立駅までの直線距離をものさしで測ってみよう。

五中から神立駅まで測ったら　ア　　cmでした。

この地形図の縮尺は　イ　　分の1　だから，

実際の距離は　ア　　cm　×　イ　　＝　ウ　　cm

ウ　　cm　＝　エ　　m　＝　オ　　km　です。

②地形図から自分の家を見つけて通学距離を求めましょう。

でも，いったいどうやって測ろうか・・・。

　　cm　×　　＝　　cm

　　cm　＝　　m　＝　　km

**さて，求められたかな？？**

## 3　地図記号って何だろう？

地図記号は，建物や土地の使われ方，道路などの**実際に目で見えるもの**と，土地の高さや市町村の境などの**目で見えないもの**を記すために使われている**記号**です。

### ①地図記号には意味があるの？

| | 【意　味】 | 【由　来】 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

### ②地図記号の種類（**2万5千分の1地形図**で使われる地図記号）

## 4　等高線って何だろう？

等高線とは，地表の同じ高さのところを結んだ線です。右の図を見てもわかるように，等高線どうしの間隔が広いほど地表の傾斜は（　　）で，せまいほど地表の傾斜は（　　）です。

山頂や等高線の途中にある数字は，その場所の標高を示しています。

# 調査テーマを考えよう

テーマ設定時のポイントは：地図に表せるか？追究に広がりがあるか？

| |
|---|
| ①情報ソース<br>してみたら |
| ②事実（どこに，どのようなものが）<br>があること（なくなったこと）に気づきました |
| ③疑問やこだわり<br>私は，なぜ<br>あるのか疑問に思いました |
| ④疑問に思った理由<br>なぜかというと<br>からです |
| ⑤テーマの設定<br>そこで地域調査のテーマは<br>の謎<br>の秘密 |

※サブテーマは次の時間にグループで話し合ってみよう

| |
|---|
| ⑥サブテーマ（疑問形）<br>に決定しました |

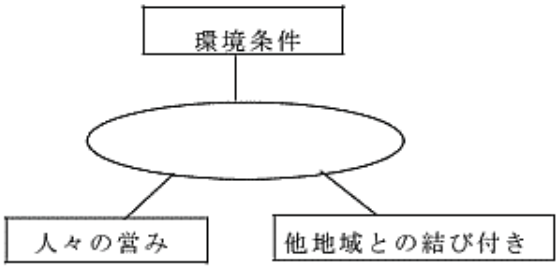
# グループでテーマを決め地域調査計画を立てよう

年　　組　　番

調査計画時のポイント：　「環境条件」地形や気候などの自然環境やその他の環境に注目
「他地域との結び付き」道路や鉄道などに注目
「人々の営み」土地利用や産業などに注目

| | |
|---|---|
| テーマ | |
| サブテーマ | |
| サブテーマに対する予想 | |

ウェビングをしてみよう。



## ☆調査方法：目的・調査場所・持ち物・その他

| |
|---|
| ①目的<br><br>を明らかにするため |
| ②調査方法・調査内容・調査場所（調査相手） etc. . . |
| ③持ち物 |
| ④その他 |

# 調べたことは，どのような方法で表現できるかな？

環・・・・環境条件　　他・・・・他地域との結び付き　人・・・・人々の営み

| 調べたこと及び視点 | 表現方法 |
|---|---|
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |

メモ：

# 調査内容をグラフや地図に表してみよう

○調べたことを分布図やグラフ，表などに表すと，その地域の特色が見えてきますし，聞き手にも伝わりやすくなります。

数量を比べるときには棒グラフ
割合を比べるには円グラフ
他の地域との割合を比べるときには帯グラフ
数量と位置関係を明らかにするには分布図

このグラフから

がわかります。

# 五中学区の地域的特色をとらえよう

①前時の現地調査で集めた「環境条件」「他地域との結び付き」「人々の営み」の視点別の資料をもとにグループで話し合い，五中学区の地域的特色をとらえるために必要な地理的事象を選び出し，地図（透明シート）やグラフなどに表してみよう。

②できあがった地図を重ね合わせたり，他の資料と比べたりしてみよう。また，必要に応じて他のグループの地図とも重ね合わせてみよう。

③地図やグラフから明らかになったことを視点別に書こう。

| テーマ： | | | |
|---|---|---|---|
| 環境条件<br>（自然環境や社会環境） | 他地域との結び付き<br>（道路や鉄道など） | 人々の営み<br>（土地利用や産業など） | その他<br>（歴史など） |
| | | | |

④③から明らかになったことを3つの視点からまとめてみよう。

個 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

グ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

## 不足している資料を収集するために再調査をしよう

年　　組　　番

再調査計画時のポイント：

五中学区の地域的特色をとらえる上で足りなかった視点は3つの視点のうちどれだろう。

○「環境条件」地形や気候などの自然環境やその他の環境に関する資料

○「他地域との結び付き」道路や鉄道などに関する資料

○「人々の営み」土地利用や産業など人々の工夫や努力，願いなどに関する資料

| | |
|---|---|
| 足りない視点は？ | |
| 足りない資料は？<br>（地図・グラフ・その他） | |
| 調査方法は？ | |
| その他 | |

## 五中学区の地域的特色をまとめてみよう

# 発表会を開こう

## 1　発表原稿を書こう。

| みんなに伝えること（自分の台本） | 資料の種類と提示のタイミング |
|---|---|
| | |

## 2　お互いに評価し合おう。

A とてもよい　B よい　C もう少し

| | 声の大きさ・発表態度はよいか | 根拠をはっきりさせているか | 資料は工夫されているか，見やすいか | 五中学区の地域的特色を3つの視点から述べているか | 発表に対する感想やアドバイス |
|---|---|---|---|---|---|
| 1班 | | | | | |
| 2班 | | | | | |
| 3班 | | | | | |
| 4班 | | | | | |
| 5班 | | | | | |
| 6班 | | | | | |

感想：

# 自己評価シート

| 時間 | 評価項目 | 評価ABC | 感　　想 |
|---|---|---|---|
| ① | ・地域調査ノートの使い方を理解することができた | | |
| | ・景観，航空写真，地形図の情報量のちがいを理解することができた | | |
| | | | |
| ② | ・等高線や地図記号，方位などについて理解することができた | | |
| | ・新旧の地形図や航空写真などから自分で調べたいテーマを設定することができた | | |
| | | | |
| ③ | ・グループで話し合い，サブテーマを決定することができた | | |
| | ・方位に気を付け，地図記号を使ってルートマップを作成することができた | | |
| | ・ウェビングをもとにグループで協力して調査計画を立てることができた | | |
| ④⑤ | ・現地調査や聞き取り調査に進んで取り組むことができた | | |
| | ・地形図やルートマップを活用することができた | | |
| | ・調査資料を「地図化できるもの」と「地図化できないもの」に分けることができた | | |
| ⑥ | ・調査で得た資料を地図やグラフに表すことができた | | |
| | ・五中学区の地域的特色を3つの視点との関連でとらえることができた | | |
| | ・不足している資料に気づき，再調査の計画を立てられた | | |
| ⑦ | ・不足している資料を収集することができた | | |
| | ・五中学区の地域的特色を3つの視点との関連でとらえることができた | | |
| | ・発表会に必要な資料について考えることができた | | |
| ⑧ | ・地図を中心に資料を準備し，五中学区の地域的特色がわかるようなオリジナルマップを作ることができた | | |
| | | | |
| ⑨ | ・発表原稿をもとにグループで協力して発表することができた | | |
| | | | |
| | | | |
| ⑩ | ・これまでの学習を振り返り，五中学区の将来像について自分の意見を持ち，発表することができた | | |
| | | | |

## 授業後の感想

| |
|---|
| |

# 五中学区の将来像について話し合おう

| |
|---|
| テーマ |

| |
|---|
| ○「環境条件」・・・地形や気候などの自然環境の面から |
| ○「他地域との結び付き」・・・道路や鉄道などの面から |
| ○「人々の営み」土地利用や産業など人々の工夫や努力，願いなどから |

## ※五中学区の将来像について自分の願いや想いを書いてみよう

# 聞き取り調査用紙

月　日(　)取材相手

| | 質問事項 | 予想回答 |
|---|---|---|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| メモ | | |
| 先生<br>Q&A | 先生への質問(悩んでいること)： | 先生からのアドバイス： |

# 聞き取り調査回答

取材場所：

対応してくれた人：

| | 実　際　の　回　答 |
|---|---|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |
| 7 | |
| 8 | |
| 9 | |
| 10 | |

メモ：

# 観察記録をとろう

チェックポイントNo.

調査場所：

自由欄（周辺地図やメモなど）：

住所：

周りの様子：

わかったこと（事実）：

不思議に思ったこと（疑問）：

チェックポイントNo.

調査場所：

写真・絵

フィルムNo.

住所：

周りの様子：

メモ：

---

チェックポイントNo.

調査場所：

写真・絵

フィルムNo.

住所：

周りの様子：

メモ：

# 計測記録をとろう

チェックポイントNo.

調査場所：

方位（北）

＝（　　）m

住所：

観察時刻：

周りの様子：

観察メモ（事実や疑問）：

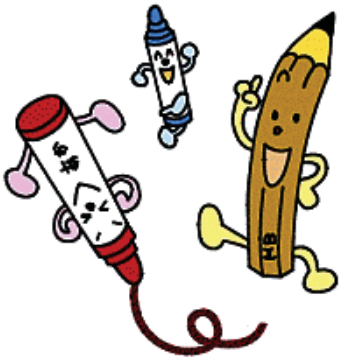
# 地域調査で気を付けたいこと

①アポをとろう（約束，予約をする時の注意）

②思いや願いを聞き出す質問を考えよう（質問時の注意事項）

③感謝の気持ちを忘れずに（聞き取り調査時の注意事項）

④写真や録音のマナー（写真撮影時などの注意事項）



# 調べたことは，どのような方法で表現できるかな？

環・・・・環境条件　　他・・・・他地域との結び付き　人・・・・人々の営み

| 調べたこと及び視点 | 表現方法 |
|---|---|
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |
| 環<br>他<br>人 | 地図<br>グラフ<br>その他（　　） |

メモ：